

らびうプラス

結婚情報サービスやプロの仲人などの、結婚相手紹介サービス。安心して利用できるよう認証制度(マル適マーク)が検討されてきた。このほどマークの交付が始まったが、もう一つ、別のマークも生まれそうな動きと聞いている。

結婚情報サービス大手の「ラビウプラス」(東京本社)は、安心して利用できるよう認証制度(マル適マーク)が検討されてきた。このほどマークの交付が始まったが、もう一つ、別のマークも生まれそうな動きと聞いている。

料金巡り対立

だが、このマル適マークに業界大手の「ネット」(東京)が異議を唱え、結婚相談所などを束ねる仲人会社とともに、別のNPO法人設立に向けた準備を始めた。理由は「日本ライフデザインカウンセラー協会の認証料金が安いから。業界の七、八割を占める個人経営の仲人さん

結婚相手紹介サービス

ガイドラインのポイント	
● 最近3年間の高福祉対応・損益計算書などを事業所に備え、求めに照し開示させる	
● ホームページやパンフで提供サービスの名称と内容、価格をわかりやすく記す	
● 中途解約がいつでもできることを書面で示し、消費者が負担する金額を明示する	
● 会員数や成婚者数などを広告などで掲載する場合は、根拠となる資料を備える	
● 独自認証は市町町長が発行する独自証明による。戸籍簿本・抄本提出を条件にしない	
● 本人の許可なく個人情報を紹介相手に開示しない	

(注) サービス産業生産性協議会内のワーキング・グループによる「結婚相手紹介サービス業認証制度に関するガイドライン」から

マル適マーク登場したが...

業界分裂 認証機関、2つに?



ツヴァイ 東京本社の受付に表示されたマル適マーク (東京都千代田区)

あたり年平均で約十五万円。出張費や東京と大阪の中小企業診断士十人への業務委託など「経費を積み重ねるとかなりの額になる」と原口博光理事長は説明する。

一方、仲人を束ねる企業の「日本ライフデザインカウンセラー協会」も、新たなNPO法人も認証基準はガイドラインに沿った内容になる見通しだ。ただ大枠は同じでも、個々の運用方法は団体によって違ってくる可能性もある。

あくまで目安

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(東京)本部(北区)の唯根妙子常任理事は、認証機関が二つにならざるを得ないとして、認証にあたり両者がどの程度深く企業を調査するのを目ざさうし、比べることが肝心と指摘する。

その上で「マークはあくまで、法令を順守しているかどうかの観点からのもの。具体的内容やサービスの内容や、料金水準の適切さなどを保証するものではない」とも警告している。

一方、ガイドラインは「人種・民族・国籍・宗教・信条・思想・犯罪歴・病歴等が含まれた情報は、原則として取り扱わない」とも明記している。

日本ライフデザインカウンセラー協会の原口理事長は「入会にあたって個人が提出する身元書に、宗教的健康状態を問う欄がある例は少ななかった。確認されたら、返答を促すつもりで話を」と話す。「これを機に消費者も個人情報の取り扱いに、より慎重になる必要がある」とも。

(編集委員 須貝道雄)

はごでも払えない」折原昭男社長が嘆息。

このマル適マーク、もともとは経産省が「消費者生活」三、四年前から業務が検討して来た。事業者は約四千業者といわれるが、一部に「法守順守」面で問題があると指摘されてきたからだ。国民生活センターなどが「結婚相手紹介サービス」をめぐり、相談件数は七年度、二千九百七十五件、〇六年度より四・五%増えた。「解約を申し出たが、

活用へ消費者も注視を

精算方式に納得できない「解約金が返金されない」などが目立っている。

そこで中立な第三者機関が事業所を審査、法令順守、個人情報保護などの基準を設ける事業所は「マル適マーク」として認定された。〇八年夏までに大筋で合意したが、詰め段階で分裂したかた。

日本ライフデザインカウンセラー協会が示した認証料は、本社や支店など二事業所を跨ぐ。同協会を立ち上げた。理事には経産省の一人、活「時代の習習の本」である山田直弘中央大学教授らが名を連ねている。

原口理事長が業界に詳しく「このマークはマル適マークの認証機関として同協会が名乗りをあげると」当初は「大丈夫だった」といった。経産省、しかし料金説明などが不十分で、業界内から批判の声が出てきたため、経営を委ねたという。

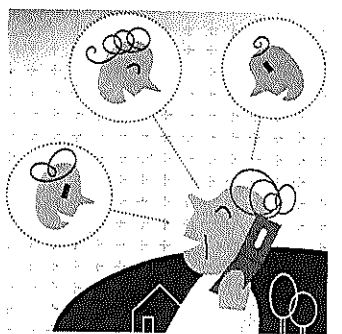
経産省は静観の構え

結婚相手紹介サービスのマル適マークが二種類でござる状態に、旗を振って来た経産省は「業界の取り組みを見守っている状況」(サービス産業課)と静観の構えだ。

一足早く認証活動を開始した日本ライフデザインカウンセラー協会は〇七年一月の設立で、原口理事長は経産省の元部長。〇三年に入省し、結婚情報サービス業界などを担当。三年で後所

ママのサプリメント

遠くに住む母が心配



イラスト・ろぎ ふじえ

り生活するに、母にもA十代の家族にも、結果に近づくてしまつた。誰いかに心配する。もて今の状況が、

今できることをする

ならしたたらしくなつた。いふまで「ママ」でもうった。「も」と母親と話す機会が増えれば少し安心できると思ふ。A十代を、これまも母親に連絡する時、最初に電話口に出るのを思いのほかに喜んでくれた。A十代は、同様に離れて暮らす兄弟や姉にも協力してもらい、それを必要とする。無理のない範囲で母に電話を掛け合うようになった。するも母の感情も、なり元気な姿を聞かせる、れをよびに、A十代

個人のライフプランに配慮し、設定や状況は実際と変えてあります。

土 三上 道代(一)